



富士通北陸システムズ、6年連続で ORACLE MASTER Platinum 資格保有者数国内首位。技術者のスキルの証明が業績に結びつき、案件獲得、顧客満足度、リピート率向上に貢献

「ORACLE MASTER Platinum 資格は技術者のスキルの証明になるだけでなく、営業にとっても最適なツールになります。資格保有者が多数在籍していることで、富士通北陸システムズの優位性をお客様により高く評価していただけます。資格取得者数の増加に伴い、当社の業績も並行して向上しています」 —株式会社富士通北陸システムズ 執行役員（データベースソリューション事業部門担当）兼 データベースソリューション事業本部長 中田 浩氏

富士通グループのなかで北陸地方を担当する SI 企業であるとともに、グループ全体に対してオラクル関連のソリューションを提供している株式会社富士通北陸システムズ（以下、FJH）では、Oracle Databaseをはじめとするオラクル製品を扱い、ソリューション・ビジネスを展開してきた。同社では、こうした自社の強みを社外へ強くアピールするために、「ORACLE MASTER」資格の取得を積極的に実施、現在は国内最大の「ORACLE MASTER Platinum」資格保有者数を誇るとともに、資格がもたらすメリットをビジネスに活用している。資格は FJH にとって案件受注のための突破口になるほか、提案時に競合他社との強力な差別化要因となっている。また、資格保有者を多く持つことでサポート品質の向上、優れた人材の獲得などの副次的な効果も得られている。結果、顧客のリピート率の向上といった効果にもつながっている。

自社製品と並行してオラクル特化ビジネスを展開する

当社は北陸地方のお客様へのサービスだけでなく、富士通株式会社（以下、富士通）が提供する基盤関連やミドルウェア製品の開発、オラクル製品をベースとしたソリューション提供の 3 つの軸をもっているユニークな企業です」と FJH 執行役員（データベースソリューション事業部門担当）兼データベースソリューション事業本部長の中田浩氏は FJH の事業形態の特徴を説明。



株式会社
富士通北陸システムズ
執行役員（データベース
ソリューション事業部門担当）
兼データベースソリューション
事業本部長
中田 浩氏

中田氏によると、この 4 年間で顧客企業のデータベースや基盤を取り巻く環境は変化を続け、今はその過渡期にあるという。「データベースを含むシステムニーズにトータルに対応しています。クラスタや仮想化が普及し、いまは垂直統合やインメモリの世界が眼前に迫ってきました。システム全体の流れのなかで最適な環境の構築や、データの利用に主眼を置いて、その活用領域や範囲を拡大しています」また同社データベースソリューション事業本部 統括部長の小西英樹氏は、中田氏が語る範囲の拡大について、「情報系や BI（ビジネス・インテリジェンス）などの取組みも増加しています」と語る。

全社的に資格取得を推進、Platinum 資格保有者数 6 年連続で国内首位

FJH がオラクル製品の取扱いを開始したのは 1991 年。今では現場への導入実績は多数に上り、技術者もスキルを蓄積してきた。会社も予算を投じて人材育成をおこなう一方、技術者側でも自主的に勉強会を重ねるなど、さらなるスキル向上に取り組んできた。その結果、同社技術者のスキルやノウハウは現場で遺憾なく発揮されてきた。「しかし、そのスキルを社外にわかりやすく説明し、お客様に認めてもらう方法がありませんでした。そのため、多くの技術者が悔しい思いをしていたのです」中田氏はこのように当時を振り返る。

社内には資格などなくても業務に差し支えないのでは、という声もあったという。しかし FJH では、社外に自社の強みを積極的に認知しても

らうために、全社を挙げて資格取得に取り組んだのである。特筆すべきは 2008 年、「ORACLE MASTER Platinum Oracle Database 10g」資格が登場してから、「ORACLE MASTER Platinum」資格の取得者数で第 2 位を大きく引き離し国内首位となった。以来、ORACLE MASTER Platinum Oracle Database 10g と ORACLE MASTER Platinum Oracle Database 11g の資格保有者数は 6 年連続で首位の座を守っている。

案件獲得、リピート率向上、人材獲得など Platinum 資格は業績に貢献

ORACLE MASTER Platinum 資格には、取得直後から表れた効果と、時間をおいて表れた効果の 2 種類があると中田氏は振り返る。

「お客様のプロジェクトに途中から参画した場合、当社の ORACLE MASTER Platinum 資格保有者が会議に参加するとお客様の反応が一気に期待に変わりました。認定ロゴが名刺にあるだけで、技術者本人も感動するほどお客様に歓迎されるなどの効果を発揮しました。資格取得者数の増加に伴い、当社の業績も並行して向上しています。資格保有者が多数在籍していることで、FJH の優位性をお客様に高く評価していただきました。これまで当社が入り込めなかったある大手製造業で、この優位性が突破口となって大型案件に結びついた事例があります。資格は営業にとっても最適なツールになります」



株式会社
富士通北陸システムズ
データベースソリューション
事業本部 統括部長
小西 英樹氏

小西氏はさらに、リピート率が増加したと説明する。「お客様のシステム更改で他社プラットフォームになってしまった場合でもデータベース関係は任せられ、営業的にはつながりを維持できたというケースもあります。サポートセンターにも ORACLE MASTER Platinum 資格保有者を配置し、問い合わせへの即答率を向上させています。導入後の満足度が向上すれば、お客様のロイヤリティもあがります。『サポートがよいから次回も富士通で』というお言葉をいただくこともあります。資格がビジネスに直結していることは、間違いないと思います」

「これがお客様の安心感を生んでいます」（中田氏）小西氏は「競合他社よりも先進的で、お客様にメリットの大きい『強い提案』ができます」と話す。

FJH では若手と熟練者がチームを組んで案件にあたる。案件が増えれば現場経験を積むチャンスも増える。「これが好循環となっています。ORACLE MASTER Platinum の試験は実技ですので、実案件での経験が生きてきます。試験の難易度は年々上がっていると聞きますが、それでも当社の合格率は一定の水準を維持しています」（中田氏）副次的な効果として、人材獲得でも効果が出ていると中田氏は言う。「資格を取得して活躍したいという、意識の高い人材が獲得できるようになりました」

現在では富士通グループで独自の地位を築き、維持している FJH。「オラクルビジネスでの優位性」を武器に富士通本体や富士通グループのほか

の企業の案件にも積極的に関与、グループの総合力を高め、業績向上にも貢献しているのである。

最後に今後の展開について中田氏は、「基盤からミドルウェアへと手を広げていき、『統合プラットフォームソリューション』を展開します。我々の限られた人数を最大に有効活用するには、常に最先端技術・製品にチャレンジし、『最先端技術で競合優位を獲得したい』という大企業のお客様に接することが最適なのです」と話す。富士通グループ内への技術移転も促進させていく予定だ。「ORACLE MASTER 資格保有者 1,000 人を目指す計画を実行中です。その牽引役を当社が担っているのです」と中田氏、小西氏は自信を見せる。

オラクル製品/サービス選定理由

- ・ベンダー自身による資格制度は顧客や取引先にとってわかりやすいスキルレベルの証明となる
- ・客観的な指標による実力の証明となる
- ・特定の製品やバージョンに特化した資格のため、顧客から確かな信頼を得やすい
- ・ORACLE MASTER Platinum 資格は実技試験のため、現場での実経験があることを証明できる

導入プロセス

1991 年、オラクル製品の取扱い開始。2008 年、自社技術者の実力を着実にアピールするために ORACLE MASTER Platinum の開始に合わせて取得開始する。1 社での ORACLE MASTER Platinum 資格保有者数が第 2 位を大きく引き離し国内最大となる。2013 年、ORACLE MASTER Platinum Oracle Database 10g と ORACLE MASTER Platinum Oracle Database 11g の資格保有者数は 6 年連続で首位の座を守っている。グループでの ORACLE MASTER Platinum 資格保持者数増員計画のリーダーとしての役割も担う。

株式会社富士通北陸システムズ

年間売上：171 億円（2012 年度）

従業員数：741 名（2013 年 4 月 1 日現在）

オラクル製品とサービス：N/A

課題：

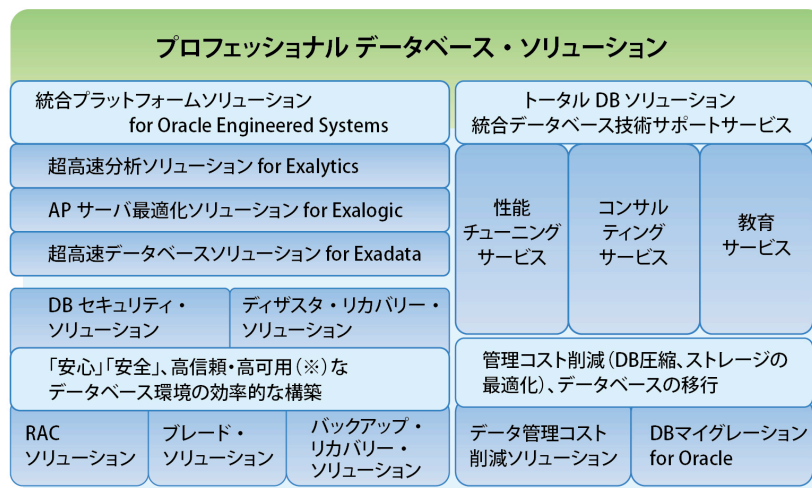
- ・技術者の高いスキルレベルをアピールする
- ・競合時に勝てる提案、オラクル製品のメリットを最大限生かせる提案をおこなう
- ・サポートの品質を上げ、サポート業務の効率と生産性を向上させる
- ・先端技術に特化した組織となり、グループ全体における専門家集団として業績に貢献する

導入効果：

- ・取引のなかった顧客からコンタクトがあるなど、営業のきっかけが増えた
- ・競合他社よりも顧客にとってメリットの大きい提案をできるようになった
- ・データベース関係のシステム更改の際のリピー率が増加した
- ・サポートセンターに資格保持者を配置し、問い合わせへの即答率を向上させた
- ・案件が増加したことで、現場での人材育成のスピードが加速した
- ・企業評価が上がり、優れた人材が獲得できるようになった
- ・富士通本社に資格保持者を常駐させるなど、グループとしてのオラクル関連ソリューションの提案力、構築力が強化された

当社が提供するオラクルデータベースソリューション

様々なオラクルデータベースソリューションにおいて、ORACLE MASTER Platinum 資格取得者による付加価値の高いサービスをご提供いたします。



※高可用：システム全体をダウンさせることなく、継続稼働させる高い能力

詳細については、下記 URL をご参照ください。(FJH 製品 & サービスホームページ)

<http://jp.fujitsu.com/fjh/services/>

(本事例は 2013 年 8 月のものです)